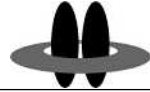




おかげさまで開館 15 周年



トヨタテクノミュージアム

産業技術記念館

2009 年 7 月 15 日

産業技術記念館 トヨタコレクション企画展

「蘇るサウンド 蓄音機 ～100 年前の音を今に!～」 開催のお知らせ

トヨタグループ13社が共同で運営するトヨタテクノミュージアム 産業技術記念館(名古屋市西区則武新町)では、開館15周年記念事業の一環として7月22日(水)から9月27日(日)まで、トヨタコレクション企画展「蘇るサウンド 蓄音機 ～100 年前の音を今に!～」を開催します。

【企画展概要】

現在では、映像や音楽を気軽に楽しむことができますが、風景や音を記録に残せるようになったのは、一世紀ほど前のこと。先人たちの、記録することにかけての情熱、研究と苦心の結果、見るものに対して実現したのがカメラで、聞くものに対して実現したのが蓄音機です。

今回は、音を記録・再生する装置である蓄音機を、その仕組みや発達の歴史とともに展示・紹介します。

【期間】 2009 年 7 月 22 日(水)～9 月 27 日(日)

【場所】 産業技術記念館 特別展示室

【内容】(主な展示品の詳細は別紙をご参照ください)

エジソンが発明した円筒式蓄音機、ベルリナーが発明した円盤式蓄音機、紙腔琴やワイヤレコーダーなどを、大阪芸術大学の協力を得て、トヨタコレクション とともに展示・紹介。

また、トヨタコレクションの中から工芸、測量、生活道具などを展示するとともに、「弓曳童子」田中久重 作(幕末)を特別展示。〔展示総数約 60 点〕

《関連イベント：蓄音機による実演》

円筒式蓄音機による録音・再生、なつかしの SP レコード演奏

〔会期中の土・日・祝日：1 日 3 回(11:10、13:30、15:50 予定)、20 分程度〕

トヨタコレクション

日本のモノづくりの源流ともいえる、主に江戸中期～明治初期の様々な分野(「からくり」、「測量・天文」、「銃・大砲」、「医療」、「絵画・書画」、「工芸」、「生活」等)にわたる貴重な科学技術資料。

【観覧料】館の入場料(常設展観覧料)のみで観覧可

大人 500 円、中高生 300 円、小学生 200 円

(夏休み期間 7 月 18 日(土)～8 月 30 日(日)は小・中学生観覧無料)

65 歳以上 無料、団体割引あり

尚、上述のとおり、夏休み期間の 7 月 18 日(土)から 8 月 30 日(日)までは、より多くの方にお越しいただけるよう、小・中学生観覧無料とします。

<当企画展に関するお問い合わせ>

広報・受入グループ 中條、遠藤、加藤

TEL: 052-551-6111 / FAX: 052-551-6199

チラシ画像提供連絡先 E mail: c.kato@tcmit.org

【産業技術記念館のご案内】

産業技術記念館は、「研究と創造の精神」と「モノづくり」の大切さや素晴らしさを、次の世代を担う若い人々に広くお伝えし、社会の健全な発展に役立てていただくことを目的として、トヨタグループ13社の共同事業により設立、平成6年6月に開館しました。平成21年6月に開館15周年を迎え、平成21年4月29日には、入館者250万人を達成しました。

実物本位で分かりやすく展示し、製造に必要な技能を実演や展示物を動かして説明する(動態展示)ほか関連技術・研究開発も合わせて紹介。「モノづくり」に関する総合的な展示施設です。

- (1)所在地：名古屋市西区則武新町4-1-35
TEL:052-551-6115
FAX:052-551-6199
- (2)開館時間：9:30～17:00(入館受付は16:30まで)
*休館日は、月曜日(祝日の場合は翌日)
- (3)観覧料：大人500円、中高生300円、小学生200円
(夏休み期間7/18～8/30は小・中学生観覧無料)
65歳以上無料、団体割引あり
*トヨタコレクション企画展は、上記観覧料のみでご覧いただけます
- (4)ホームページ：<http://www.tcmit.org>

<お問い合わせ>

広報・受入グループ 中條、遠藤、加藤
TEL:052-551-6111 / FAX:052-551-6199

以上

<展示構成と主な展示品>

展 示 構 成	主 な 展 示 物 ・ 資 料
<p>・ 企画展展示：明治時代～昭和初期の蓄音機など【25点】</p>	
<p>【円筒式蓄音機】【5点】 音の保存・再生ができる蓄音機の歴史は、1877年にトーマス・アルバ・エジソンが発明した錫箔円筒式蓄音機から始まります。その後、電話を発明したグラハム・ベルの研究所員により円筒に蝋を塗った蝋管が開発され、音質が格段に良くなりました。</p>	<p>錫箔円筒式蓄音機 <大阪芸術大学所蔵、複製> <ul style="list-style-type: none"> ・ エジソンが発明した当時の蓄音機の複製品 エジソン GEM 蓄音機 モデルD <1910年頃> ・ エジソン社が発売した低価格小型モデル エジソン蓄音機ファイアースイドモデルB <1912年:大阪芸術大学所蔵> ・ 録音時間が従来の2倍の4分間の円筒レコードを再生できる蓄音機 <p style="text-align: right;">など</p> </p>
<p>【円盤式蓄音機】【12点】 マイクロフォンの発明者でもあるエミール・ベルリナーが1887年に円盤式蓄音機を発明し、これにより蓄音機は大きく普及しました。円盤式はプレスによる大量生産に向いており、安価で豊富なソフトが出揃いました。</p>	<p>ニッポノホン蓄音機 <明治43年以降> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大きな朝顔型ホーンのついた蓄音機 ニッポン ディクタホン <明治後期> ・ 2個のホーンをもつ珍しい蓄音機 クトウ蓄音機 <大正11年(1922)頃> ・ ぜんまいを使わない手回し式の蓄音機 ルミエール蓄音機 <1924～1926年:大阪芸術大学所蔵> ・ ひだのある紙製振動板を用いた蓄音機 HMV リエントラント モデル194 <1927年:大阪芸術大学所蔵> ・ HMV社が発売したフロアタイプの豪華な蓄音機 <p style="text-align: right;">など</p> </p>
<p>【いろいろな機器と音の記録の進化】【8点】 音の記録方法は、オルゴールやレコードのように機械的な記録方法から、テープレコーダーのように電気によって磁性体を磁化させて記録する方法に進化し、録音が身近なものになりました。</p>	<p>紙腔琴 <明治時代> <ul style="list-style-type: none"> ・ 孔をあけた巻物に空気を通して鳴る和製オルゴール おしゃべり人形<1930年代:大阪芸術大学所蔵> ・ 胴体に円筒式蓄音機を仕組んだ人形 音带式蓄音機 <1936年:大阪芸術大学所蔵> ・ セルロイド製のエンドレスフィルム「音帯」を用いた蓄音機 ワイヤーレコーダ<1948年:大阪芸術大学所蔵> ・ ワイヤーを磁化させて音を記録する録音機 <p style="text-align: right;">など</p> </p>
<p>・ 様々な分野の科学技術資料：江戸中期～明治時代の「工芸品」、「測量」、「医療」など【32点】</p>	
<p style="text-align: center;">段返り人形、からくり花籠、開化皿小学校之図、トランシット型測量器、蘭引、無尽灯 など</p>	
<p>開館15周年 特別展示</p>	<p>弓曳童子 <幕末> <ul style="list-style-type: none"> ・ からくり儀右衛門こと田中久重が作り上げたからくり人形の最高傑作 </p>